



菊農家の園山達也さん。輝北町は市内の約9割の Sprey 菊を出荷する県内でも有数の産地

01

輝北キラキラ館

お客様に立寄っていただける仕掛けを作る

「鹿屋市内や近隣からお餅や団子を買いに来られるお客さんはもちろん、鹿児島市からも定期的に買い物に来られるお客さんもいらっしやるなど、キラキラ館のお客さんはリピーターが多いんですよ」と話すのは、お店で働く留森由希子さん。店内には、「朝どれ」「今どれ」と書かれた広告とともに、収穫されたばかりの輝北町産の野菜や花、加工品が所狭しと並んでいます。その中でも、特に売れ筋の商品が有名な輝北産 Sprey 菊。鹿児島県民は先祖を敬う気持ちが強く、お墓に生花を絶やさぬ地域であり、生花を求めて市内外から多くのお客さんが来店されるそうです。

輝北キラキラ館の運営に携わっている後藤両市さんにお話を伺いました。

「東九州自動車道が開通し売り上げ等を心配する声も聞かれましたが、現在のところ特に影響はありません。質の高い農産物を作る生産者の方を覚えていてリピーターになっていただいているお客様や、そ



輝北キラキラ館  
 輝北町上百引3412-1  
 ☎080-6415-4198  
 毎日営業(年末年始を除く)  
 9:00~18:00

ういうお客様による口コミ効果のおかげかもしれません。

ただ、お客様に立寄っていただける仕掛け作りは今後も考えなければなりません。現在、野菜・畜産・茶・花き農家などの出荷協議会の役員さんと月に1回以上会合を開き、多くの知恵を出し合っている最中です。

4月からは、野菜を作っても持って行くことのできない生産者宅を巡回し、集荷を行う仕組み作りや、買い物に行くことが困難なお年寄り宅への商品配達なども考えています。地域の皆さんの力を結集して、多くの知恵を絞り、地域が元気になればと思います」と話してくれました。

直売所の「魅力」を探る

「新鮮な野菜や魚を買うなら直売所へ」というイメージが定着しつつある現在の農林水産物直売所。

地産地消にも大きな役割を果たし、地元で採れた農林水産物を安く・新鮮に買える農林水産物直売所の「魅力」を探ります。



高隈まちあるきツアーにて、鹿児島市内などからツアー客が下高隅町の「旬菜館」を訪れた時の様子。かつて、高隈高校で作られていた「山菜弁当」を旬菜館で再現し、昼食に振る舞いました。

農林水産業の一大産地である鹿児島市の直売所には、農地や漁港に近いという特性から、朝採れの野菜や魚が並んでいます。品質にこだわったお客さんが「新鮮・安い・美味しい」商品求めて、わざわざ遠方から買い物に来られる人も増えており、今では「新鮮な野菜や魚を買うなら直売所へ」というイメージが定着しつつあります。

全国的にも直売所は急増し、日本全国で16,000店を超えるまでになっているとも言われています。

市内においても、地元の産物を活かした直売所を見かけるほか、17年前から続く土曜朝市や無人販売所など形態の異なる直売所もあります。

ほかにも、直売所では、地元の珍しい野菜や加工品を手に入れる機会もあり、また生産者の皆さんと触れ合うことで、調理方法などを教えてもらうチャンスもあります。

これを機会に直売所へ足を運び、地域の農産物を見直してみませんか。

